

令和2年6月19日

加盟大学剣道部  
部長・監督・主務 殿

関西学生剣道連盟  
会長 久徳 博文

第68回関西学生剣道優勝大会・第44回関西女子学生剣道優勝大会  
開催中止について

平素は学生剣道発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

去る6月14日第4回定例理事会を開催し、第68回関西学生剣道優勝大会および第44回関西女子学生剣道優勝大会開催について審議いたしました。4年生にとりましては大学最後の試合となる可能性もあり、慎重に審議いたしましたが、以下の理由により中止決定をせざるを得ないとの判断に至りました。監督、学生の皆さんにおかれては残念な決定となりますが、コロナ禍の中、剣道を修練する者全員の安全を最優先に考えた結果であることをご理解ください。

①大学、学生（剣道部）の現状

ほとんどの大学は未だに入構禁止が続き、前期は一切入構せずオンラインによる授業が行われています。そのため、大学内での本格的な部活動再開の目途が立たず、対外活動については更に再開の目途が立たない状況です。この現状から考えて、仮に7月から徐々に稽古が再開できたとしても9月の大会開催は練習期間、準備期間が短すぎることで、更に、稽古開始時期は真夏と重なる上、マスク等を装着した新たなスタイルの稽古が求められており、熱中症等のリスクも今までとは比べられないくらい高まると予想されること、等を考慮すると開催は極めて難しいと考えます。

②9月学生大会を取り巻く状況

関西優勝大会と同時期に予選、本戦が開催される全日本剣道選手権、同女子選手権が新型コロナウイルス感染防止の観点から2020年開催を断念したこと、9月13日大阪府剣道連盟主催の全国少年都道府県対抗試合も同様の理由で中止になったこと等を踏まえると、学生大会だけが感染リスクが少ないとは言えない中、開催は困難であると考えます。

### ③関西エリアの感染状況

幸いにして関西エリアは緊急事態宣言解除後もクラスター等の大きな感染は起こっておりませんが、特定警戒都道府県に指定されたエリアであり引き続き十分な警戒、感染予防策が求められております。こうした中、たとえ予防策を講じたとしても、密な環境を生み出してしまう感染リスクの高い競技である剣道の試合を行うのは、時期尚早であると思われまます。

以上、3つの観点から考え、本大会は開催しないという結論に至りました。

但し、7月中旬に行われる全日本学生剣道連盟の会議において全日本学生剣道優勝大会、同女子優勝大会の開催が決定した場合は再考いたします。

また、今後の状況次第ではありますが、全国大会の予選ではない形で4年生が活躍できる場を設けることができないか関西連盟として検討してまいります。

以上